

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘 要
<p>【教育局】</p> <p>1 平成20年度全国高等学校総合体育大会</p>	<p>201,706</p> <p>(一財 201,706)</p>	<p>1,959,416</p> <p>(国庫 27,927 諸収 256 一財 1,931,233)</p>	<p>1,959,416</p> <p>(国庫 27,927 諸収 256 一財 1,931,233)</p>	<p>平成20年度全国高等学校総合体育大会を本県で開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合開会式 <ul style="list-style-type: none"> 〔開催日：平成20年7月28日(月)〕 〔場 所：さいたまスーパーアリーナ〕 ・競技種目別大会 <ul style="list-style-type: none"> 〔開催日：平成20年7月29日～8月20日〕 〔場 所：県内29市町及び東京都江東区(若洲)〕 〔競技種目：28競技(県内29市町で開催)〕 <li style="padding-left: 20px;">ヨット競技(東京都江東区で開催) ・参加者数(見込み)約6万人(選手・監督・役員) <p>1 式典・演技経費 3億1,777万2千円</p> <p>2 競技経費 14億5,738万円</p> <p>3 企画広報経費 1億8,426万4千円</p> <p>(参考)</p> <p>平成16年度さいたま国体</p> <ul style="list-style-type: none"> 〔競技数：37競技〕 〔参加者数：約42,500人(選手・監督・役員)〕 〔予算額：約57億円〕
<p>【審査の考え方】</p> <p>高校スポーツ最大の祭典であるインターハイは、教育活動の一環として、高校生に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図ることが出来るだけでなく、体験活動の一環として高校生の一人一役活動によるインターハイ成功への気運と一体感の醸成も図れることから、その必要性を認め、要求額を措置した。</p>				

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘 要
2 県立高等学校エコ改修事業	3,915 (一財 3,915)	298,179 (国庫 133,000 県債 109,000 繰入 56,179)	298,179 (国庫 133,000 県債 109,000 繰入 56,179)	<p>浦和高校校舎でのエコ改修工事 エコ改修の過程や改修後の校舎を教材としての環境教育の実施 (みどりの基金充当事業)</p> <p>1 エコ改修工事の実施 2億9,036万7千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギー、代替エネルギー関係 太陽光発電設備の導入 ・省エネ関係 <ul style="list-style-type: none"> 〔外断熱、複層ガラス 内装材での断熱(県産木材の活用) 省エネ機器導入(高効率照明機器等) ・節水関係 節水型設備の導入 <p>2 改修後のエネルギー使用状況等の調査 624万7千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回実施(夏・冬) ・改修前の調査結果と比較し、改修によるCO2削減効果の検証 <p>3 環境教育の実施 156万5千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒提案による環境研究活動等
<p>【審査の考え方】 みどりの基金活用事業として、温暖化防止対策、ヒートアイランド現象の緩和に有効な緑化を推進し、エコ改修による環境に配慮した快適な学習環境を整えることで、生徒、地域住民等への意識啓発も図られるという有効性を認め、要求額を措置した。</p>				

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
(続き) 新				
県立学校緑と太陽 エネルギー推進事業費		82,093 〔国庫 15,000 繰入 67,093〕	82,093 〔国庫 15,000 繰入 67,093〕	1 県立高等学校緑化推進事業の実施 4,596万7千円 ・高等学校の既存校舎の外壁を壁面緑化(2校) 新座高校・川口北高校 ・高等学校の校庭の一部を芝生化(2校) 所沢高校・草加高校 ・高等学校の既存校舎の屋上緑化(4校) 浦和高校・飯能高校・岩槻高校・川越工業高校 2 太陽光発電設備整備事業の実施 3,612万6千円 ・高等学校に太陽光発電設備を設置(1校) 大宮武蔵野高校

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘 要
3 70万人体験活動関連事業	104,483 〔国庫 32,454 使手 2,000 一財 70,029〕	119,844 〔国庫 53,100 使手 2,000 一財 64,744〕	119,844 〔国庫 53,100 使手 2,000 一財 64,744〕	1 発達段階を通じた計画的・体系的な体験活動 4,252万8千円 (1) 小中学校の体験活動 700万円 ① 学校間交流事業に対する支援 ・ 幼稚園・保育園と小学校の連携 ・ 小学校と中学校の連携 ② 中学校職場体験学習に対する支援 (2) 小中学校の体験活動 584万3千円 小中学校キャリア教育総合推進事業 ・ キャリア教育実践事例集の作成・配付 ・ 地域「ふれあい講演会」の実施 (3) 高校生の体験活動 2,968万5千円 ・ インターンシップ ・ 保育、介護体験 ・ 研究機関等での実験や実習体験 ・ 社会奉仕活動等 2 不登校や中途退学防止に対応した体験活動 2,137万1千円 (1) 民間連携体験活動プロジェクト 171万5千円 ・ 民間団体のノウハウを活用した不登校児童生徒のための体験活動の実施 ・ 自然体験、農業体験、異年齢集団での活動
<p>【審査の考え方】 児童生徒の人間性や社会性を育み、また、不登校、中途退学を防止するために、勤労観、職業観、規範意識を育成するインターンシップ等の体験活動の意義や有効性を認め、要求額を措置した。</p>				

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
(続き)				<p>(2) 自分発見！高校生感動体験プログラム事業 1,965万6千円</p> <ul style="list-style-type: none">・就労体験の実施(10校、⑩5校) 中退者の多い学校の1年生を対象・清掃活動や福祉体験の実施(5校、⑩5校) 非行問題行動の多い学校の生徒を対象・学力アップや人間関係づくりを目的とした 体験学習の実施(5校、⑩5校) 学校生活不適応への対応 <p>3 社会性や自立心の育成を目的とした体験活動 5,594万5千円</p> <p>(1) 豊かな体験活動推進事業 (国庫10/10事業) 5,012万円</p> <ul style="list-style-type: none">・世代間交流体験活動・農山漁村におけるふるさと生活体験活動等 <p>(2) 瞳輝く子どもふれあい・体験活動事業 582万5千円</p> <ul style="list-style-type: none">・げんきプラザを活用した各種交流体験活動

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
4 いじめ・不登校対策 関連事業	840,452 (国庫 158,389 諸収 398 一財 681,665)	795,236 (国庫 107,354 諸収 3,130 一財 684,752)	795,236 (国庫 107,354 諸収 3,130 一財 684,752)	<p>1 いじめ・不登校対策相談事業 7億4,554万6千円</p> <p>(1) スクールカウンセラーの配置 165人 2億3,813万8千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラー配置先 <ul style="list-style-type: none"> 新 小学校： 36校 (1人2校担当) 中学校： 368校 (1人3校担当) 高等学校： 4校 (1人1校担当) センター： 2所 (1人1所) 教育事務所： 5所 (1人1所) <p>(2) 精神科医師の配置 2人 308万6千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配置先 総合教育センター及び深谷支所 <p>(3) 中学校配置相談員助成 4億6,495万5千円 ・さいたま市を除く全ての中学校に相談員を配置</p> <p>新 (4) スクールソーシャルワーカーの配置 (国庫10/10事業) 2,700万円 ・1地域900万円規模で3地域に配置</p> <p>(5) その他 1,236万7千円 ・スチューデントサポーターの配置 ・高校相談員の配置 (戸田翔陽高校) 等</p>
<p>【審査の考え方】 いじめ、不登校の防止に向けて、スクールカウンセラーの小学校への配置、24時間いじめ電話相談等により教育相談体制を充実することの有効性と、ネットいじめ対策の必要性を認め、要求額を措置した。</p>				

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
(続き)				<p>2 電話教育相談事業 4,701万9千円</p> <p>(1) よいこの電話相談(継続事業) 2,201万9千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤職員6名による対応 ・受付(対応)時間 平日の9時から20時まで <p>新 (2) いじめ緊急電話相談(民間委託) 2,500万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付(対応)時間 土日(祝)及び平日の20時から9時まで <p>3 民間連携体験活動プロジェクト(再掲) 171万5千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間団体のノウハウを活用した不登校児童生徒のための体験活動の実施 ・自然体験、農業体験、異年齢集団での活動 <p>新 4 ネットいじめ等対策事業 95万6千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ実態調査 ・ネットいじめ対応マニュアル、対応事例集の作成

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
5 特別支援学校対策事業	544,040 〔県債 318,000 一財 226,040〕	2,344,399 〔国庫 86,773 県債 1,731,000 一財 526,626〕	2,344,399 〔国庫 86,773 県債 1,731,000 一財 526,626〕	1 県立特別支援学校教室不足対策事業 23億3,646万円 (1) 県南部地域知的障害特別支援学校(仮称)の設置 (再編整備後の上尾東高校) 22億8,012万4千円 ・建築・改修工事等 (既存校舎改修、プールの改修、空調設備工事等) ・平成21年4月開校予定 40学級程度 〔新〕 (2) 県西部地域知的障害特別支援学校(仮称)の設置 (再編整備後の所沢東高校) 5,633万6千円 ・平成21年度改修工事の為の設計 ・平成22年4月開校予定 30学級程度
<p>【審査の考え方】 知的障害特別支援学校を中心とする教室不足を解消し、児童生徒が安心して学べる教育環境の必要性を認め、県南部地域の学校建設費と県西部地域の学校設計費について、要求額を措置した。 また、特別支援学校高等部生徒の就労を促進するため、就労支援の必要性を認め、要求額を措置した。</p>				

教育局

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘要
(続き)				<p>新 2 特別支援学校就労支援総合推進事業 793万9千円 特別支援学校高等部生徒の就労促進の為の総合的対策</p> <p>(1) ニーズを踏まえた職業教育の実践 121万9千円 ・アドバイザーを活用した作業学習の改善など</p> <p>(2) 職業開拓、理解啓発など組織的な取組の推進 72万円 ・ハローワーク等との共同職場開拓など</p> <p>(3) 就労サポーターの配置 600万円 ・就労サポーターによる実習・就労先の開拓</p>

(単位：千円)

事業名	前年度予算額	要求額	審査額	摘 要
<p>新</p> <p>6 外部人材の活用 非常勤講師配置事業</p> <div data-bbox="237 678 1220 890" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>【審査の考え方】 小1問題に対応する教員や、地域の小・中学校を支援する特別支援学校教員の代替として、非常勤講師を配置する必要性を認め、要求額を措置した。</p></div>		<p>50,185</p> <p>〔国庫 16,653 一財 33,532〕</p>	<p>要求どおり</p> <p>50,185</p> <p>〔国庫 16,653 一財 33,532〕</p>	<p>子どもと向き合う時間を拡充するため、退職教員や経験豊かな社会人を学校に非常勤講師として配置（全39名）</p> <p>1 小1問題対応非常勤講師 1,286万8千円</p> <p>集団生活になじめない児童に対応する教員の代替として非常勤講師を配置（10名）</p> <p>2 特別支援学校による小中学校支援対応非常勤講師 3,731万7千円</p> <p>学校教育法の改正により、地域の小・中学校からの相談に対応する教員の代替として非常勤講師を配置（29名）</p>

教育局